

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	商工振興事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	商工振興事業			
事業概要							
中小企業資金融資、吹田産業フェア、吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金交付、企業情報収集・支援、中小企業活性化支援、企業誘致推進、経営相談、産業振興基盤づくり、商工業情報発信、商工振興施策検討							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【中小企業人材育成支援補助金の創設による拡充】 (1) 中小企業活性化支援事業 【決算額】R4：6,241千円、R5：5,521千円、R6:9,711千円 【主な取組】中小企業ホームページ等作成事業補助金(39件) 展示会等出展事業補助金(8件) 知的財産権取得事業補助金(7件) 中小企業人材育成支援補助(3件)ほか (2) 企業誘致推進事業 【決算額】R4：19,265千円、R5：27,296千円、R6:21,043千円 【主な取組】企業立地促進奨励金(3件) 地元企業等共同研究開発事業補助金(3件)ほか (3) 経営相談事業 相談件数 R4:43件、R5：41件、R6：42件 (4) 商工業情報発信事業 商工ニュース発行 R4：3回、R5：3回、R6：2回 商業情報発信 R4：9回、R5：10回、R6：13回 (5) 吹田産業フェア 【決算額】R4：7,354千円、R5：9,688千円、R6：11,000千円			決算額 (千円)	2,108,256	412,930	358,877	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	6.1	1.3	3.2	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			各種補助制度の実施により、市内中小 企業者の人材育成、販路拡大等への支援 や企業立地の促進を図るなど、地域経済 の活性化に寄与した。 既存の補助制度については、経済社会 の変動、国・府の事業者向け支援制度の 動向並びに第4次総合計画改訂時に加味し た視点(感染症を含む災害対応やデジタ ル化等の時勢の動き)を踏まえつつ、市 内中小企業者が柔軟に活用できる内容へ の見直しを行うなど、一定の整理が必要 と考える。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	起業支援事業		
事業概要						
新産業育成・創業起業支援、市役所本庁舎内チャレンジャー育成						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 新産業育成・創業起業支援事業 【主な取組】創業支援型事業所賃借料補助金 R4：1,500千円(7件)、R5：1,417千円(4件) R6：1,042千円(3件) 開業サポート資金融資等利子補給金 R6:868千円(15件) 起業家交流会開催実績 R4：4回、R5：4回、R6：4回		決算額 (千円)	1,742	1,548	2,122	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
(2) 市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業 選定会議を行い、令和7年度の出店者（第11期生）を選定した。		創業支援型事業所賃借料補助金による 創業初期のサポートや、起業家交流会の 実施による創業者－事業者間交流の活性 化は、創業者の育成や定着に有効であ る。 市役所本庁舎内チャレンジャー育成事 業については、事業継続にあたり、設備 等の修繕や更新の必要がある。 また、本事業に応募しやすい仕組み作 りを行う必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	商工振興事業	所管部局	都市魅力部

3	所管 室課	地域経済振興室	事業名	商店街等支援事業		
事業概要						
商工業団体事業活動促進補助金交付、商店街等商業共同施設事業補助金交付、商店街等魅力向上促進事業補助金交付、商業活性化コンサルタント派遣事業補助金交付、駅周辺活性化、商業基盤施設整備事業補助金交付						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
地域の消費者や住民にとって快適で魅力ある商業地づくりや市内商工業団体等による地域との交流や活性化を図る事業への補助を行った。 ・商工業団体事業活動促進補助金交付件数 R4：9件、R5：10件、R6：17件 ・商店街等商業共同施設設置事業補助金交付件数 R4：2件、R5：5件、R6：5件 ・商店街等魅力向上促進事業補助金交付件数 R4：5件、R5：8件、R6：10件 ・商業活性化コンサルタント派遣事業補助金交付件数 R4：2件、R5：3件、R6：3件 ・駅周辺活性化事業　まちづくり講演会開催（令和7年3月24日）		決算額 （千円）	14,037	19,016	21,622	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（％）	99.0	99.3	99.4	■ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		ホームページにおいて支援事業を周知するとともに、関係団体にプッシュ型による情報提供を行い、市内商業の活性化を図る必要がある。 既存の補助制度については、商業団体の意向も踏まえつつ、補助対象や内容の見直しを行うなど、一定の整理が必要と考える。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続

4	所管 室課	地域経済振興室	事業名	ふるさと寄附金事業		
事業概要						
ふるさと寄附金関連						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
本市の魅力発信と地域経済の振興のため、ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附の受付及び寄附者への返礼品の送付等を行った。 (1) ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附受付期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (2) ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附金額及び寄附件数 R4： 951,763千円、50,696件 R5： 1,450,797千円、71,978件 R6： 1,308,699千円、68,946件 (3) 返礼品提供事業者及び返礼品数 R4： 40者、158品 R5： 47者、192品 R6： 52者、222品		決算額 (千円)	454,012	721,671	640,230	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		ふるさと納税返礼品の提供事業者数については、本市の魅力発信及び地域経済の振興に資するよう、その増加に向け、市内事業者への企業訪問の際に制度周知を行うと共に、様々な企業との交流機会を活用することにより、新規開拓につなげることを目指す。また、返礼品の多様化は更なる魅力発信につながることから、総務省の指定基準の変更等に都度対応しながら、新たな返礼品の選定及び既存返礼品の精査が必要と考える。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	商工振興事業	所管部局	都市魅力部

5	所管 室課	地域経済振興室	事業名	商業振興施策整備費積立事業			
事業概要							
商業振興施設整備費積立							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
・商業振興施設整備基金の預金利子積立 157,741円 ・基金総額 537,707,692円（令和7年3月31日現在） 取崩実績 ・H13：旭通商店街（協）アーケード補修 216,263,000円 ・H17：錦通商店街（協）アーケード補修 20,930,000円			決算額 (千円)	5	5	158	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			関連するハード事業において、どの程 度の財源確保をしておくべきかの観点を 踏まえて備えておく必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
継続							

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	農業振興事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	大阪府農業共済組合負担金事業		
事業概要						
大阪府農業共済組合負担金						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
・大阪府農業共済組合負担金 R4：448,872円 R5：450,005円 R6：449,158円 農林水産省まとめの2020年農林業センサス報告書にある府内各自治体の総農家数及び耕地面積（田）と事務経費等を勘案し、負担金額を算出。		決算額 （千円）	449	450	449	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		年々、農地及び加入農家は減少している が、農業経営を支援し農地を保全する ために、今後も継続すべき事業である。				継続

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	農業振興事業			
事業概要							
花とみどりふれあい農園、市民農園関係、農作業体験、地産地消の推進							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 花とみどりふれあい農園（作付農家数、作付面積） R4:32戸59,059㎡ R5:28戸53,107㎡ R6:29戸48,381㎡ (2) 市民農園（農園数、総区画数） R4:18園685区画 R5:19園700区画 R6:18園672区画 (3) 農作業体験 ・ふれ愛農園（参加登録、延参加者数、開催回数） R4:17組(58人)、267人、6回 R5:19組(69人)、295人、6回 R6:20組(78人)、325人、7回 ・学童農園（実施校数、延参加者数） R4:20校、3,915人 R5:20校、3,863人 R6:20校、3,708人 (4) 地産地消の推進 ・地産地消推進事業補助金 R4:3件 R5:14件 R6:14件 ※これまでの吹田くわいの栽培に加えて、R5より新玉ねぎの栽培及び自身で生産した農産物を一以上販売した農家にも補助を拡充。 ・農産物販売会 江坂朝市 R4:11回 R5:10回 R6:10回 ハビスマ朝市 R4: 2回 R5: 2回 R6: 2回 その他、吹田産業フェア、健都ライブラリー周年事業に出店 (5) 千里北公園農小屋解体撤去工事（R5のみ）			決算額 （千円）	3,870	5,910	3,162	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			花とみどりふれあい農園は、前年度と比べて作付農家数は増加したものの、農地の減少に伴い作付面積は減少している。市民農園についてはニーズは高くキャンセル待ちが出るなどしており、農家へ新規開園の働きかけが重要である。また、農作業体験事業の委託先である吹田市農業振興研究協議会の農家をはじめ、高齢化による担い手不足が今後の課題である。 朝市等の農産物販売会や品評会を開催し、鮮度等付加価値のある農産物供給ができる都市農業の魅力を発信し、農業者の意欲向上を促して、担い手確保に結び付けていく。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
地域経済振興室	農地災害復旧事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	農地事業	所管部局	下水道部

1	所管 室課	管路保全室	事業名	農業用水路管理事業			
事業概要							
農農業用水路維持管理							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 維持管理用原材料費 令和4年度… 200千円、令和5年度… 0千円、令和6年度… 0千円 (2) 負担金 令和4年度… 100千円、令和5年度… 100千円、令和6年度… 114千円			決算額 (千円)	300	100	114	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			・農業用水路やため池等は、大雨時に河川や下水道管を補完することにより水防等にも寄与していることから、当事業を継続する必要がある。 ・災害等により農業用施設に被害が発生すると、業務量が膨大となる。				継続

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名